

社会福祉法人 日本国際社会事業団
2024年度第400回理事会議事録

1. 開催日時

2024年9月5日（木曜日） 18時30分から20時30分まで

2. 開催場所

社会福祉法人日本国際社会事業団の事務所およびオンラインでハイブリット開催

- ・ 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 3 階
- ・ オンライン参加の場合は Zoom を利用

3. 出席者

理事（総数 6 名 出席 6 名） 永坂哲、石川美絵子、篠原敏夫、畑山篤（オンライン）、小
豆澤史絵（オンライン）、長島弘征（オンライン）、
監事（総数 2 名 出席 2 名） 山本一雄（オンライン）、田多晋（オンライン）
事務局（1 名） 櫻井環

4. 欠席者

無

5. 議長

理事長 永坂哲

6. 議事録作成者

櫻井環

7. 決議に特別の利害関係を有する理事

該当者なし

8. 議題

（1）報告事項

報告第 1 号：理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告

（2）議題

第 1 号：人事労務管理システムの導入について

第 2 号：常勤職員の契約変更について

第3号：ISS本部会費の値上げについて

9. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

18時30分、理事総数6名のところ、6名の出席により理事会が成立していることを確認後、石川常務理事が開会を告げた。その後、出席理事の互選により議長の選出を行い、永坂議長が議長に就任した。

また、石川常務理事から、理事会の招集通知において、決議事項に特別の利害関係を有する理事が存するかを確認した結果、本日の議案について該当する理事はいない旨が報告された。

(1) 報告第1号：理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告

石川常務理事から、職務執行状況についての以下の説明があった。

(2) 第1号：人事労務管理システムの導入について

議案について、石川理事より第1号議案資料に基づいて説明があった。

永坂議長 何か質問などがありますか。管理業務のコスト削減につながるのであれば良いことだと思います。

山本監事 クレジットカードの導入についてですが、小口現金の利用の削減、従業員の立替負担や経費精算の削減は管理上も良いことだと思います。日常業務の精算において、クレジットカードが利用できないことはありますか。

石川理事 養子縁組の支援において、手続のために収入印紙や郵便小為替などを購入することがありますが、それらは現金で精算する必要があります。

永坂議長 他に質問がなければ、第1号議案についてご承認いただけるということでしょうか。

(異議なしとの声あり)

永坂議長 第1号は原案のとおり議決されたものと認めます。

(3) 第2号：常勤職員の契約変更について

議案について、石川理事より第2号議案資料に基づいて説明があった。

永坂議長 何か質問やご意見はありますか。

小豆澤理事 固定残業の時間についてですが、従業員の業務によって残業時間は幅があるのではないのでしょうか。また、できるだけ残業を少なくする意識付けも必要だと思います。

石川理事 従業員ごとに違いがありますので、固定残業代とするためには妥当な時

間を検討する必要があると思います。なお、固定残業時間を超えた場合は、通常通り残業代が発生します。

永坂議長 賞与はこれまでありませんでしたので、このキャリアアップ助成金を機に導入することになりますか。

石川理事 はい。金額については今後検討する必要がありますが、今後も継続して支給する予定です。

田多監事 資格給の内容はどのようなものでしょうか。

石川理事 ISSJ の事業に直接関係のある資格として、社会福祉士と精神保健福祉士を考えています。

田多監事 この給与体系において資格給の額が大きすぎると、従業員ごとにかなり給与の差がついてしまうのではないのでしょうか。

石川議長 金額については検討したいと考えています。また、社会福祉士と精神保健福祉士の資格をもたないが、専門的な知識をもっている従業員については別途手当を支給することも制度に入れていきます。

永坂議長 正規職員化して給与をあげるということは事業所としてのコストアップになりますが、現場で日々働く従業員の待遇の向上は引き続き検討していくべきだと思います。それでは、他に質問がなければ、第2号議案についてご承認いただけるということでしょうか。

(異議なしとの声あり)

永坂議長 第2号は原案のとおり議決されたものと認めます。

(4) 第3号：ISS本部会費の値上げについて

議案について、石川理事より第3号議案資料に基づいて説明があった。

永坂議長 皆様ご意見ありますでしょうか。ISS本部の会費の値上がりについて、ISSJにとってかなり大きな負担となりますので、本部へ意見を出すつもりです。石川理事よりご説明いただいたように、本部からは値上げの算出根拠の資料が送られてきていますが、正式に抗議をするべきと考えています。

篠原理事 値上げの根拠として、ISSJ設立からの年数が長いことあげられていますが、法人の規模や事業規模としては他支部より比較的小さいので、この算出根拠には違和感があると思います。

石川理事 公的な資金の比率についても算出根拠としてあげられています。ISSJは民間あっせん機関として東京都の補助金を得ていることから、公的資金の割合が高い支部として本部から位置付けられています。しかし、公的資

金の割合が高い他の支部は、そもそも民間機関ではなく政府機関であり、ISSJ とは法人の性質が異なります。この点についても、抗議すべき点だと考えています。また、ISSJ と同様に値上げ対象となった他の支部との意見交換もしていきたいと思います。

永坂議長 ISS 支部であることの意味についても、これを機に改めて確認したいです。では、皆さんのご意見をもとに、本部へ提出する意見書は石川理事と作成します。それでは、他に質問がなければ、第3号議案についてご承認いただけるということでしょうか。

(異議なしとの声あり)

永坂議長 第3号は原案のとおり議決されたものと認めます。

永坂議長 その他にご意見、ご質問等はございませんか。
よろしいでしょうか。本日の議題は全て終了しました。これを持ちまして、本日の理事会を閉会させていただきたいと存じます。本日はありがとうございました。

2024年9月5日

議事録署名人

理事長 永坂 哲



監 事 山本 一雄



監 事 田多 晋

